

Press Release

令和 6 (2024) 年 12 月 27 日

子どもの将来のために、環境保全について考える
子育て支援センターでごみの減量化に関する出前講座を実施します

海南市は、子育て支援センターを利用する未就園児の保護者を対象に、ごみの処理方法や、食品ロスを含むごみの減量化、海洋プラスチックによる環境汚染についての出前講座を実施します。この出前講座は、令和 5 年度から、市が小・中学校や学童保育室、自治会または市内に事業所を置く企業や団体、グループ、サークルを対象に、環境に関する出前講座を実施しているもので、子育て支援センターでの実施は今回が初めてです。

出前講座実施日・場所・時間・《参加予定人数》

日時：1月9日（木） 10時30分～11時30分

◆子育て支援センター五月山（海南市北赤坂 3-1 ☎073-483-7778）

参加予定者：子育て支援センターを利用する未就学児の保護者約 10 名

講座内容：海南市のごみの現状・ごみと地球環境の関係・ごみの減量化について

子どもたちが将来暮らす地球環境を守るために、今できることを考える

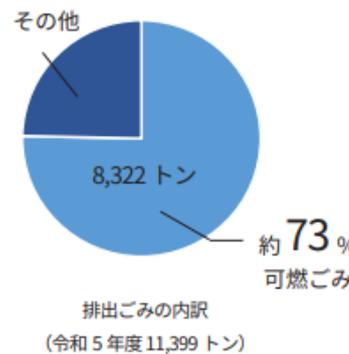
世界の人口は現在 70 億人を突破し、2050 年には 98 億人に達すると予測され、人間活動による地球環境への負担が大きくなっています。そんな中、令和 5 年 6 月に海南市を襲った豪雨災害は、市民に、異常気象による災害が他人事ではなく身近で起こりうることを思い知らせるとともに、子育て世代に大きな不安を与えました。

今回の講座は、普段家庭でごみの処理をする保護者を対象に、ごみの収集や処理で発生する二酸化炭素が地球に与える影響などについて学び、子どもたちが将来暮らす地球の環境を守るために、家庭でできるごみの減量や分別について考える機会とします。

海南市のごみの現状と課題

海南市の家庭ごみの総排出量（令和 5 年度）は年間 1 万 1,399 トン（ジャンボジェット機約 33 機分）で、その量は年々減少しているものの、一人当たりのごみの排出量は年間 241.5 キログラムあり、ごみ収集に約 2 億 5000 万円/年、処理に約 2 億 9,000 万円/年の費用を支出しています。

また、その家庭ごみの総排出量の約 73%が可燃ごみで、その内 80%以上が生ごみと紙類だと言われており、それらを減らすことがごみ減量のカギとなっています。



本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南市くらし部環境課（担当：吉田）

〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂 11

TEL：073-483-8448 FAX：073-483-8448

E-mail: cleanc@city.kainan.lg.jp

リリース配信元

海南市総務部シティプロモーション課

〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂 11

TEL：073-483-8408 FAX：073-482-0099

E-mail: cp@city.kainan.lg.jp